

新規・継続等	新規	分野	砂防施設整備		事業番号	8	事業名	砂防(総合流域防災)						
市町村名	須坂市		ふりがな 箇所名	まえばやし 前山沢		はつちよう 八町		事業年度 (完了年度は見込み)	H23 年度 ~ H30 年度					
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	砂防堰堤工 4基 1号砂防堰堤 H=9.0m L=35.0m 2号砂防堰堤 H=8.0m L=60.0m 3号砂防堰堤 H=9.0m L=35.0m 4号砂防堰堤 H=8.0m L=60.0m						H22年度事業進捗率	0.0 %					
	H23年度以降実施内容	同上						本工事費等ベース	0.0 %					
	H23年度実施内容	測量・設計・調査 1式						用地補償費ベース	0.0 %					
	年度	全体事業費		H21年度まで		H22年度		H23年度		H23年度以降				
	事業費計(千円)	500,000		0		0		30,000		500,000				
財源内訳	国庫支出金	250,000		0		0		15,000		250,000				
	その他													
	県債	225,000		0		0		13,500		225,000				
	一般財源	25,000		0		0		1,500		25,000				
箇所評価	観点	評価項目・指標等				評価				部	政策評価課			
									ランク	評点	ランク	評点		
	必要性 (20)	保全対象人家	10戸以上		1~9戸		0戸		A	10		A	10	
		保全対象公共施設	2箇所以上		1箇所		なし			6			6	
		保全対象に弱者施設があるか	重要施設有り		一般施設有り		なし			3			3	
		保全対象に避難所、避難経路があるか	あり		なし					1			1	
		小計								20			20	
	重要性 (15)	過去の災害履歴	過去20年に1回以上		災害履歴地		なし		A	3		A	3	
		交通遮断による地域経済などへの影響	大		中		小			5			5	
		防災計画上の位置づけ	あり		なし					5			5	
		小計								13			13	
	効率性 (20)	費用対効果(B/C)	B/C1.5以上		B/C1.0以上1.5未満		B/C1.0未満		A	15		A	15	
		早期発現度	5年未満		5年以上10年未満		10年以上			3			3	
		流域の総合調整(関連事業の有無を含む)	検討あり		検討なし					0			0	
		小計								18			18	
	緊急性 (25)	地質・地形の状況	地質が脆弱かつ地すべり地形		地質が脆弱		その他		A	7		A	7	
		植生の状況	無林地や倒木が多い		放置林		その他			4			4	
		平均渓床勾配	10度以上		2度以上10度未満		2度未満			7			7	
		土砂整備率	0%		0%より大50%未満		50%以上			7			7	
		小計								25			25	
計画 熟度 (20)	地域からの要望	地域住民活動強い		市町村要望有り		特に要望ない		B	6		B	6		
	事業情報の共有	関係者以外にも周知		関係者中心に周知		特に周知していない			3			3		
	住民参加の状況	住民が直接参加		住民市町村意見を反映		住民意見反映していない			4			4		
	小計								13			13		
費用対効果(B/C)		10.18		評価の合計				A	89		A	89		
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	本溪流は土石流危険溪流で、流域は地質が脆弱で荒廃しており、渓床にも不安定土塊が堆積している。下流域には災害時要援護者施設をはじめとして、人家57戸等の保全対象があるが、砂防施設は未整備の状況である。												
	地域からの要望経緯	平成16年に、地元区及び市から要望書の提出があった。 平成22年4月に、災害時要援護者施設(浅間育豊園、須坂技術学園)から、現地にて要望を挙げられた。												
	事業説明等の経緯	平成22年11月に地元区に事業説明実施。												
	環境・景観への配慮項目	現地産の巨石や発生土を利用し、盛土部には植生工を実施していく。												
	他事業・プロジェクトとの関連	平成21年3月に土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域に指定。												
特記事項	住民の方々との交流(事業・現場説明会の開催)を増やし、地域の状況にあった工法、施工方法による事業実施に努めていく。													
地域の合意形成	全員賛成		概ね賛成		過半数賛成		動向不明		その他					
部意見	当流域には、不安定な渓床堆積物と多くの倒木が存在しており、保全対象まで沢出口が迫っている為、次期降雨による、土砂と流木の流出と保全対象への被害が懸念される。保全対象には、災害時要援護者施設が含まれており、速やかな土砂災害対策が必要である。				政策評価課 意見		必要性、緊急性が高く、重要性も認められる。							